



赤旗 読者通信 改題

2024. 3. 3 通巻No.1639

日本共産党 小矢部市委員会

市内七社 245 Tel 67-4322 Fax 67-4842

何でもご相談を



市議会議員 上田由美子 68-2106 Fax 68-2146



参議院議員 井上さとし



前衆院議員 藤野保史

禁無断転載 複写配布

2024年度小矢部市予算(案)(2)

○自主防災組織避難所開設へ 初動活動BOXを整備 90万円(5万円×18地区)

2023年7月豪雨、24年能登半島地震の経験を踏まえ、迅速かつ多くの避難所を開設するため、地区防災会に初動活動BOX(救急箱、感染症対策物品、拡声器、懐中電灯など照明器具、その他)を整備する事業です。

地震後に正得地区の方から「市民プラザなどの避難所は遠くに行けない。すぐ動けない高齢者だけでも地区公民館に避難できればよかった」という声を聞きました。また、「地区公民館に避難所を設けた場合、水や食料などの備蓄品が7日分は必要だ。道が寸断されて、市の防災倉庫から備蓄品を運べない事態が考えられる」との意見もあります。人員配置や停電の時の暖房など多くの検討課題があります。

○各公民館にスマートロックの導入 80万円

各公民館にスマートロックを導入し、鍵の受渡しを不要にすることで、利用者の利便性向上と管理の効率化を図る。同時に災害時等における施設の緊急解錠を可能とする。

鳥インフル、感染経路にハエ

日刊「しんぶん赤旗」27日付を掲載したハエが鶏舎へウイルスが、「大規模調査によって、鳥インフルエンザウイルスがオオクロバエを運んでいる可能性がある」といいます。これからは、ハエクロバエで検出された」と報道 対策も重要となります。しました。渡り鳥のフンや死骸



ハエ類の鶏舎への侵入対策が必要

21年12月31日以前施工の瓦屋根で、耐風診断(注)の結果、現行基準に適合しない瓦屋根について、屋根全面改修費用の一部を補助。(注)耐風診断新築や葺き替え、増築時には法改正で22年1月1日から瓦1枚づつ屋根に釘やネジで固定させることが義務付けられました。既設の屋根は義務付けられません。専門技術士による耐風性能が十分か診断してもらうものです。

農地の被害状況を把握し 支援事業の周知を

能登半島地震による農地の被害回復を求めて、上田由美子市議は2月20日に開かれた全員協議会で質問をしました(農地の被害の写真)。

【上田市議】能登半島地震による農地のコンクリート畦畔断裂などの被害はどれだけか。

【農林課長】小矢部市の被害状況は、2月20日現在で農地が16件、農用施設が25件合計41件である。

支援事業を知らずに工事依頼したらどうなるか

【上田市議】国や県または市の支援を受けるため、被害を市の農林課に報告することが必要であるが、この点について農業者にどのように周知を徹底しているのか。私がお会いした方の中で、具体的に何を留意すればよいのかわからないという方があった。

法人や営農組合、それから個人の農業者の方にメールや郵送などで支援事業を知らせることが必要ではないか。知らずに土木業者に工事を依頼した場合、費用は償還されるのか。



沈下し歪んだ畦=正得地区



液状化で吹き出した砂が田面を覆い、田に大きな穴が=正得地区

被害の写真をつけて報告を 臨機応変に対応する 農林課長

【農林課長】地震に限らず、大雨などの被害について、年間を通じて地元町内会や土地改良区役員、営農組合などから報告を受けることになっている。大雨の時など、これらの方々は現地の見守りをしている。農業者個人から報告を受ける仕組みにはなっていない。

被害があった場合は、町内会や営農組合等から農林課に来ていただき、国の補助事業などを調べて、どのように支援するか検討する。

支援事業を知らずに復旧工事に取りかかったばかりの時は、被害の写真等を付けて報告していただくなど、臨機応変に対応する。